

キャラクター名
四条 吉円(ジヨウ 吉マ)

プレイヤー名

シンドローム	サラマンダー オルクス	ワークス	何でも屋	カヴァー	掃除屋
オプション	モルフェウス	年齢	28	性別	男
覚醒	渴望	衝動	妄想	初期侵食率	31 %
出自	結社の一員	経験	喪失	邂逅	幼子

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	28
肉体	2	1	0			3	行動値	4
感覚	1	0	0			1	(非装備時)	4
精神	2	0	0			2	戦闘移動	9
社会	3	0	0			3	全力移動	18

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	12		射撃			RC			交渉		
回避	1		知覚	1		意志			調達	5	
運転:			芸術:			知識:			情報: 噂話	3	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
《浮かせて落とす》	白兵	11r+12	8	16		(侵食値10) 1+5+7+9 汚れに応じて適宜手を抜いたりする
《徹甲弾》(テックウガン)	白兵	11r+12	8	21		(侵食値14) 上記+3 武器温存ver. ガードが欲しいとき
《老式重油撃砲》(トワルキギョウガガガ)	白兵	11r+12	8	37		(侵食値17) 上記+4 武器破壊ver. とにかく火力のとき

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ
勝負服		1			意思判定値+1 ただただの薄緑の作業服である

所持品	
コネ: 要人への貸し	

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
錬金術師	P	N		
ディアボロス	P 同情	N 敵愾心		
テレーズ・ブルム	P 尽力	N 不安		
沙島 すばる	P 懐旧	N 不安		
支部長	P 有為	N 嫌悪		
スプリングス・コンコード	P 同情	N 不快感		
サラリーマン風の男	P 感服	N 隔意		
最大財産P:	16	残り財産P:	1	

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果:	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果:	コスト分のHPで復活							
コンセントレイト:モルフェウス	2	2	Mj・A			シンドロ		
効果:	いつもの							
インフィニティウエポン	4	3(+2)	Mn			自動		
効果:	攻撃+[Lv+7] (+5:錬金術師) ガード値3の武器作成							
咎人の剣	2	4	Mj			白兵		
効果:	IW武器で攻撃時、攻撃力+[Lv*5]							
オーバーロード	1	3	A			自動		
効果:	+武器の攻撃力							
砂の加護	2	3	A			自動		
効果:	判定ダイス+[Lv+1] ラウンド1回							
妖精の手	2	4	A			自動		
効果:	10にする シナリオLv回							
カスタマイズ	2	2	Mj			白兵		
効果:	判定ダイス+[Lv]							
氷の回廊	1	1	Mn			自動		
効果:	移動エフェクト+[Lv*2]							
炎神の怒り	2	3	Mj			肉体		
効果:	判定ダイス+[Lv+1] HP-3点							
急速分解	★					自動		
効果:	いらぬものは分解(バウ)し、ましよう							
万能器具	★							
効果:	こちらは手製のお掃除棒、です							
効果:								
効果:								

「どうも、ひらぎ清掃です。建物の…お掃除に伺いました」

汚れのない作業着に帽子を目深に被った瘦身の青年。
15歳の時、父からの暴力に耐えかねて覚醒。逆上し、家ごと崩壊させたところをUGNに保護された。
以降はエージェントとして前線でジャームとの戦いに明け暮れていたが、数年前に何故か突然引退することを決め、“ひらぎ清掃”という清掃会社を立ち上げ、N市の環境美化に努めている。
見た目は無愛想だが、黙々と仕事に取り組む様子とその仕事振りから地域には受け入れられつつある。
自作のお掃除アイテムと熱コントロールで油污れの掃除が大得意。

良くも悪くも仕事第一。無愛想でぶっきらぼうだが、それは逆に、何事に対しても感情の起伏が薄いことの表れ。現に一線を退いたのも、最も大切な人を亡くした時ですら復讐の怒りが湧かなかった自分に絶望したのが最たる理由である(誰にも言っていない)。
荒事は好きではなかった(苦手とは言っていない)ためUGNでの良い思い出はあまりないが、使える手は使っても一般人や古巣を守らなければならないという使命感はちゃんとある。
生成した武器を殴打と同時に爆破させるという攻撃方法で敵を粉砕するため、現役時代は「通った跡は塵も残らない」と恐れられ、戦車の名前で呼ばれるようになったが、今でも本人は荒事が好きじゃないので歓迎していない。